

事業名:水産生産基盤整備事業

あわ せ あわ せ
地区名:泡瀬地区 泡瀬漁港(沖縄県沖縄市) (第1種)

●地区の概要

泡瀬漁港は、沖縄本島の東海岸中部に位置し、沖縄市にある唯一の漁港であり、マグロやソデイカ漁が盛んに行われている。また、産地市場を有し、周辺漁港から水産物が集約され、市内のみならず県内に出荷されているほか、漁港内には直売所や水産物レストランがあり、生産機能および地域振興の拠点として、重要な役割を担っている。

●事業の目的

○災害リスクへの対応力強化

近年激甚化する台風時において、綱取り可能な安全係留施設が不足しており、休けい場所から綱が取れる波除堤側の泊地へ漁船を移動させるといった避難準備や避難解除にも時間を要し、避難作業に多大な労力や日数が拘束されている。

このため、補助棧橋を有する浮棧橋や護岸の整備により、荒天時に綱取り可能な安全係留施設を確保し、台風災害への対応力強化を図る。

○漁業活動等の安全性・効率性の確保

5 t以上の漁船の補修の際に必要な船揚場が1箇所あるが、漁船の大型化により5 t以上の漁船が増加しており、休業期間中の補修作業に支障が生じている。また、漁船の出入港の重なりにより生じる航走波の影響で休けい漁船が動揺し、接触被害が発生している。

このため、既存船揚場の改良や波除堤を整備し、漁業活動の効率化や安全性の向上を図る。

事業内容

- ・ 主な事業量 : 第9波除堤(新設)、北護岸(改良)、護岸(1)(新設)、浮棧橋(5)(新設)、船揚場(改良)
- ・ 事業費 : 950百万円
- ・ 事業主体 : 沖縄県
- ・ 事業期間 : 令和5年度～令和9年度
- ・ 令和8年度実施要望額(事業費): 77,000千円
(国費): 69,300千円
- ・ 令和8年度事業実施予定箇所:
船揚場 一式、浮棧橋(5) 設計一式



災害リスクへの対応力強化

- ①北護岸(改良)
- ②護岸(3)(新設)
- ③浮棧橋(5)(新設)

漁業活動等の安全性・効率性の確保

- ①船揚場(改良)
- ②第9波除堤(新設)



漁法により入出港時間が異なるため、入出港が重なる状況があり、漁船の安定を保ち既存施設への衝突を避けるためには、一定の速度を出す必要がある。



波除堤側の泊地での避難係留状況



漁船同士の接触による欠損状況

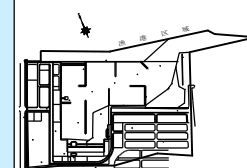
水産生産基盤整備事業 泡瀬漁港計画平面図

漁港番号	種別	所管	事業主体	管理者	施工場所
5010140	第1種	沖縄	沖縄県	県(沖縄市)	沖縄県沖縄市泡瀬地先・・・

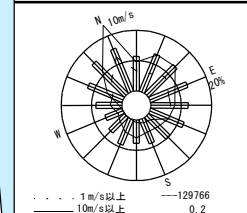
位置図



漁港区域図



風向・風速図



那覇測候所(1977.3~1991.12)

潮位図

H.W.L	+2.05
M.W.L	+1.15
M.L.W.L	+0.60
L.W.L	+0.10

凡例

- 平成14年度～令和6年度に施行した施設
- 令和7年度施工する施設
- 令和8年度要求分
- 令和9年度以降に施工予定の施設
- その他の事業により令和7年度までに施工済みの施設
- その他の事業による令和8年度以降計画

工事箇所

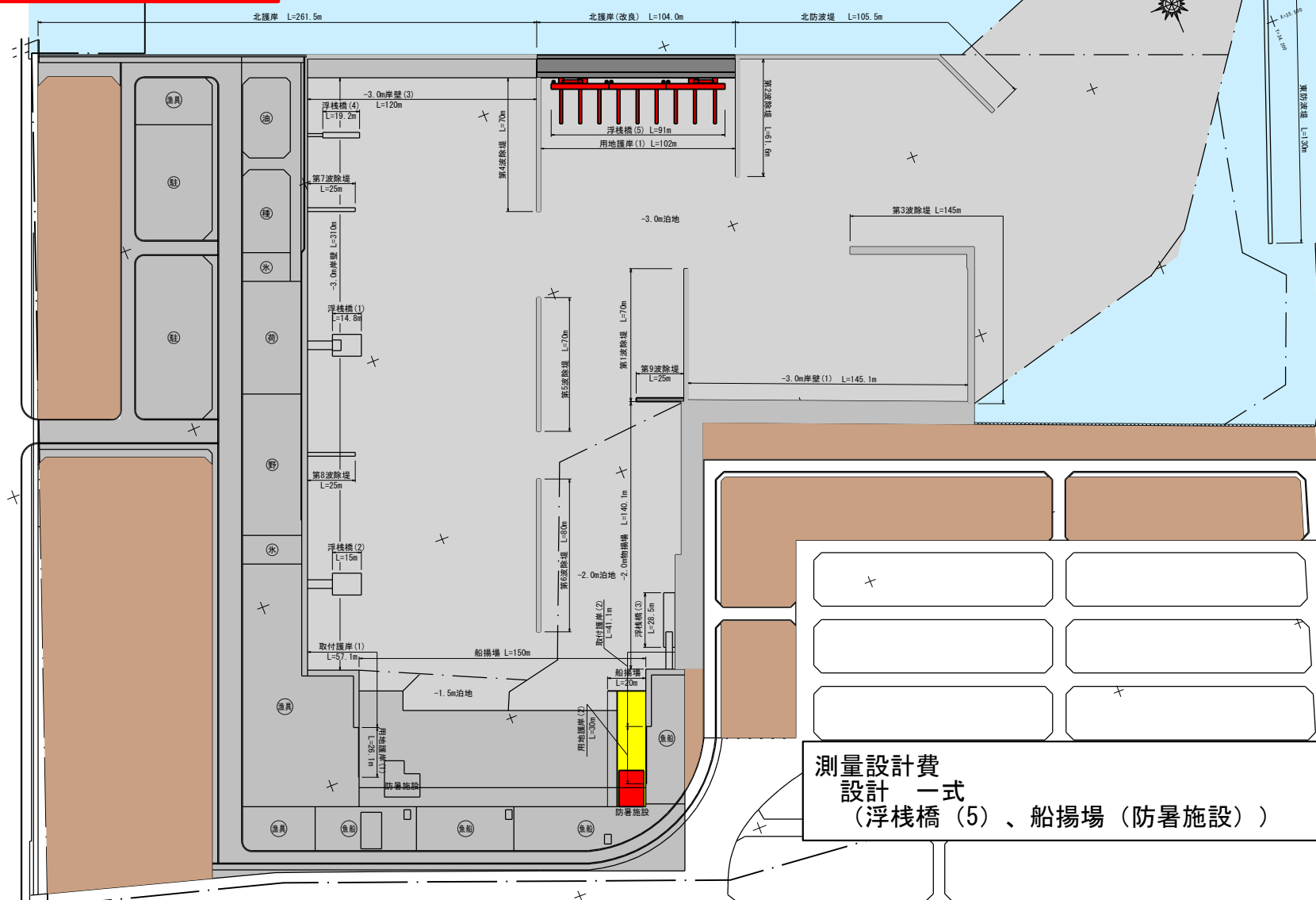
本工事費
船揚場 L=20.0m

測量設計費
積算・工事監督

水産生産基盤整備事業 泡瀬漁港計画平面図

漁港番号	種 別	所 管	事業主体	管理者	施 工 場 所
5010140	第1種	沖 縄	沖 縄 県	県(沖縄市)	沖縄県沖縄市泡瀬地先・・・

委託業務箇所

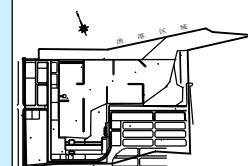


測量設計費
設計一式
(浮桟橋(5)、船揚場(防暑施設))

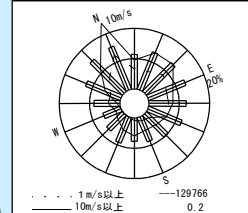
位置図



漁港区域図



風向・風速図



那覇測候所(1977.3~1991.12)

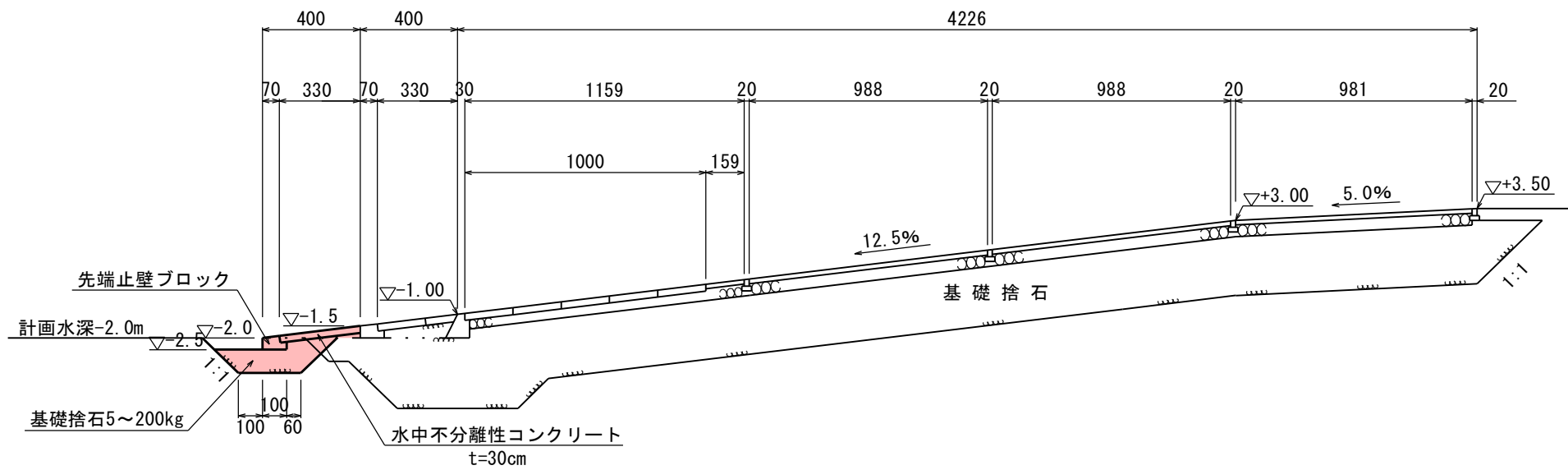
潮位図

H. W. L	+2.05
M. W. L	+1.15
M. L. W. L	+0.60
L. W. L	+0.10

凡 例

- 平成14年度～令和6年度に施行した施設
- 令和7年度施工する施設
- 令和8年度要求分
- 令和9年度以降に施工予定の施設
- その他の事業により令和7年度までに施工済みの施設
- その他事業による令和8年度以降計画

船揚場改良(先端改良)



凡例	
	令和8年度要求分 (工事費)

全景写真



泡瀬漁港

令和3年度撮影